

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	169	176	164	184
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	6	4	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	210	139	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	63	34	341	679
正職員人件費 (B)		千円	2,344	3,534	3,129	3,060
総事業費 (A+B)		千円	2,407	3,568	3,470	3,739

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク例会 ・セラミックス交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 56千円 ・取組成果広報経費等 234千円 ・セラミックス交流会経費 51千円 ・市民や企業の交流イベント 338千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,409	3,409	3,409	3,409
対象指標 2	商店街組合数	件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額	千円	4,543	4,522	6,185	9,320
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数	件	28	24	35	24
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,543	4,522	6,185	9,320
正職員人件費 (B)		千円	1,953	3,141	3,129	3,060
総事業費 (A+B)		千円	6,496	7,663	9,314	12,380

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。	・商工業活性化事業補助金 4,700千円 ・商店街建築協定推進事業補助金 1,320千円 ・共同施設整備事業補助金 3,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：経済活動広報事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化		
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援		
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内産業や市内企業について、市民の認識が広がる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	120,335	120,335	119,587
対象指標 2	世帯数	世帯	0	55,236	55,236	55,530
活動指標 1	年間発行回数	回	0	1	6	12
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	0	4	6	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	1,564	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	2,471	2,464	3,195

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。	フリーペーパー広報紙記事掲載委託費 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	フリーペーパーに加え、広報紙の活用による広報回数の拡大（年6回→12回）		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。また、地場産品の販売にあわせて江別の観光プロモーションを行なうことにより、観光客誘客促進などにつなげる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
販路拡大や商品開発・ブランド化に取り組む。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,409	3,409	3,409	3,409
対象指標 2	観光協会会員数	会員	175	180	180	200
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	2	4	4	5
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	33	24	29	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	602	182	243	0
正職員人件費 (B)		千円	2,344	1,571	1,956	2,295
総事業費 (A+B)		千円	2,946	1,753	2,199	2,295

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度 江別産品試食相談会 北海道産品取引商談会 マーケティングテスト販売 道外江別フェア	※27年度補正予算を28年度へ繰越しするため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…473千円、28年度総事業費…2,768千円】 江別産品試食相談会 113千円 北海道産品取引商談会 94千円 マーケティングテスト販売 31千円 道外江別フェア 228千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	道外販路拡大のニーズがあることから、道外催事・物産展等について支援を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生の商店街での活動参入を促し、参入希望者へのサポート事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	0	1	1	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	0	47	50	50
成果指標 2	サポート事業実施数	件	0	7	2	2
事業費 (A)		千円	0	530	750	750
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	1,564	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	2,101	2,314	3,045

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動啓発セミナーの開催 ・活動参入者へのサポート事業の実施 	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果） 向上 維持 低下	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力が向上される。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	野幌商店街	団体	0	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	コーディネーター数	人	0	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	3,600	3,300
成果指標 1	相談件数	件	0	112	240	70
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	1	1
事業費 (A)		千円	0	3,980	8,548	7,308
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	1,956	3,826
総事業費 (A+B)		千円	0	5,551	10,504	11,134

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設 ・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター委託費 4,008千円 ・誘致テナントへの補助金 3,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（区域）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体等で構成される協議会等に参画し、道内3地域連携のもと、食の付加価値向上に向けた共同事業等を推進する。 大学、研究機関等との連携を推進し、食品の機能性検証システムを構築する。 機能性食品開発支援補助金（H27～）：食の臨床試験に関する企業相談や試験結果の論文化に対し補助を行う。 海外市場開拓等促進補助金（H25～）：海外市場開拓等促進補助金交付要領に基づき、市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出等をする企業等に補助金を交付する。（補助率：対象経費の1/2） 海外市場開拓・販路拡大のため、海外で商品販売イベント等を実施する。 江別市におけるフード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境（事業しやすい環境、取り組みやすい環境）が整備され、道内外の食品メーカー・研究施設が市内に新規立地するようになるとともに、市内既存食品メーカーが事業を拡大するようになる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標1	特区協議会の構成員数	団体	89	89	90	90	
対象指標2							
活動指標1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	3,052	4,750	6,000	7,000	
活動指標2	補助金額	千円	10,061	10,295	7,000	7,000	
成果指標1	食関連企業の新増設数	社	0	1	2	2	
成果指標2							
事業費（A）		千円	14,412	17,858	8,470	5,524	
正職員人件費（B）		千円	11,720	11,780	15,644	7,651	
総事業費（A+B）		千円	26,132	29,638	24,114	13,175	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出。 機能性食品開発を支援する補助金を交付。 市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出に取組む企業等に補助金を交付。 市内食品メーカーの海外市場開拓・販路拡大等を支援するため、海外で商品販売イベントやバイヤーとの商談を実施。 フード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 2,334千円 機能性食品開発支援補助金 6,500千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,086千円 フード特区広報事業 1,240千円 <p>※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が8,470千円である。 【27年度繰越予算…6,500千円、27年度総事業費…30,614千円】 ※27年度補正予算を28年度へ繰越したため、28年度当初予算が5,524千円である。 【28年度繰越予算…6,500千円、28年度総事業費…19,675千円】</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	<ul style="list-style-type: none"> 健康カード事業の基盤整備に係る支援に代え、普及・活用促進に係る経費を負担する。 	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内に対象施設を立地等（新設・増設・設備更新）した企業 対象施設：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき各補助メニュー（立地、雇用、下水道使用料、設備更新）に応じ補助金を交付する。 ①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額 ②雇用補助金…新規雇用者に対して市内居住者20万円（障がい者は20万円加算）、市外居住者10万円 ③下水道使用料補助金…各月当たり500㎡を超える部分の年間下水道使用料の1/2 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内経済の活性化に寄与する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	補助金交付企業数	社	1	1	2	5
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	5,344	5,180	34,900	79,721
活動指標2						
成果指標1	補助金認定件数（累計）	件	22	22	25	27
成果指標2						
事業費(A)		千円	5,344	5,180	34,900	79,721
正職員人件費(B)		千円	7,813	3,927	3,911	3,826
総事業費(A+B)		千円	13,157	9,107	38,811	83,547

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	補助金 79,721千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持					○
低下					

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	企業・事業所数	社	424,884	410,802	424,884	410,802
対象指標2						
活動指標1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	102	134	100	100
活動指標2						
成果指標1	立地企業・事業所数	社	5	5	2	5
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,305	2,262	1,987	1,693
正職員人件費(B)		千円	7,813	18,062	15,644	15,302
総事業費(A+B)		千円	9,118	20,324	17,631	16,995

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に係る情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 ・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 648千円 ・企業誘致パンフレット増刷 432千円 ・企業訪問、イベント出展に係る旅費 379千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
市内農業者及び市民							
手段（事務事業の内容、やり方）							
〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給等に対して補助する。 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
市民に認められた農畜産物ブランド品が供給され続けるための仕組みを作ることで、各品目の安定生産を図る。							

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標1	市内農業者	人	1,172	1,140	1,140	1,140	
対象指標2	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587	
活動指標1	補助金額（小麦関係）	千円	0	1,570	2,080	1,890	
活動指標2	精液購入等補助金額	千円	650	730	750	750	
成果指標1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2	
成果指標2							
事業費(A)		千円	650	2,300	0	0	
正職員人件費(B)		千円	3,516	3,534	3,911	3,826	
総事業費(A+B)		千円	4,166	5,834	3,911	3,826	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給補助 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 	※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算は0円である。 【27年度繰越事業費…3,207千円、27年度総事業費…7,118千円】 ※27年度補正予算を28年度へ繰越するため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…2,640千円、28年度総事業費…6,466千円】 ・ブランド化小麦地域安定供給補助 1,890千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					
維持			○		
低下					

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内農業者及び市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流の推進を図るための事業を行う団体に対して、事業費を補助する。 補助を受けた協議会は、都市と農村の交流を推進するため、それぞれの部会（直売所部会・貸し農園部会・加工部会）が連携した活動を行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> 農業を介しての都市と農村の人的交流を盛んにする。 農村の自然や文化に触れあうことで心身のやすらぎの場を提供する。 江別産の農畜産物の消費拡大により、生産者の所得増につなげる。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内農業者	人	1,175	1,140	1,140	1,140
対象指標2	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
活動指標1	イベント開催回数	回	19	18	20	20
活動指標2	各部会等開催回数	回	11	13	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	438,772	485,790	427,000	486,000
成果指標2	イベント参加者の関心度	%	97	100	80	80
事業費(A)		千円	970	1,069	992	0
正職員人件費(B)		千円	5,078	5,104	5,084	5,356
総事業費(A+B)		千円	6,048	6,173	6,076	5,356

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会に対して補助金を支出 協議会事業：直売所スタンプラリー、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、収穫体験ツアーなど 加工新商品開発等の支援 	※27年度補正予算を28年度へ繰越しするため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…1,800千円、28年度総事業費…7,156千円】 <ul style="list-style-type: none"> 交流推進協議会への補助 1,000千円 加工新商品開発等支援補助 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	新規に加工新商品開発等の支援を行う。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊を活用して、市場調査や加工品製造に対する助言、テストキッチン内の設備操作の指導、6次産業化の支援、グリーン・ツーリズムの情報発信等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化やグリーン・ツーリズムを推進する。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587	
対象指標 2							
活動指標 1	協力隊員数	人	0	0	0	1	
活動指標 2							
成果指標 1	交流拠点施設利用者数	人	0	0	0	0	
成果指標 2	テストキッチン利用者数	人	0	0	0	0	
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,708	
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	765	
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	3,473	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員を配置 ・隊員に対する機器操作取得費 ・市場調査費（加工品の販売状況等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員報酬費 1,900千円 ・隊員通勤費 70千円 ・隊員の機械操作研修委託料 300千円 ・市場調査に係る移動代 373千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	29年度開設予定の都市と農村交流拠点施設の運営に向けて、地域おこし協力隊員を活用し、地元農業者の6次産業化への取組みに対する支援やグリーン・ツーリズムを推進するための活動を行う。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	就職を希望している女性
手段（事務事業の内容、やり方）	①就職に必要なスキルを習得するための研修や企業実習の実施などにより、女性の就職や就職後の定着を支援する。 ②女性向けの就職支援セミナーの開催や、女性の雇用に積極的な企業に関する情報提供などを行い、女性と企業の接点を増やす。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	女性の就職に向けた課題を解決し、就職もしくは再就職ができるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	38,227	38,227	37,369
対象指標 2						
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	0	3	1	4
活動指標 2	就職支援研修実施回数	回	0	0	2	2
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	0	32	150	100
成果指標 2	就職者数	人	0	0	50	50
事業費 (A)		千円	0	193	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	785	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	978	2,347	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①就職に向けた研修プログラムの実施 ②就職支援のためのセミナーの開催や求人企業に関する情報提供 ③子育て支援施設に隣接した就職相談窓口の運営	※27年度補正予算を28年度へ繰越すため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…22,061千円、28年度総事業費…24,356千円】 ・研修プログラム実施経費 19,203千円 ・就職支援セミナー開催経費 929千円 ・就職相談窓口運営経費 1,929千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…26,897千円、27年度総事業費…29,244千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	研修プログラムにおけるOJT期間を2ヶ月間から1か月間に短縮する。			
維持		減少	維持	増加
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
		○		

事業名： 障害者就労相談支援事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	障がい者及びその家族並びに企業
手段（事務事業の内容、やり方）	相談支援員により就労に関する定期及び随時相談を行い、障がい者の就労及び社会的自立の支援を行う。 また、定着支援員による職場巡回や企業へのアドバイスをを行い、障がい者が就労を継続できるよう支援を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	障がい者及び家族が就労に関する悩みを相談し、支援を受けることで、就労が可能となり自立した社会生活を営むことができるようになる。 また、障がい者雇用を希望したり、現に雇用している企業の相談や支援を行うことで、障がい者の雇用の場を確保できる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	障がい者数	人	0	0	0	8,772
対象指標 2						
活動指標 1	相談開設日数	日	0	0	0	243
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	0	0	0	720
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	9,088
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,591
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	13,679

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	就労相談支援及び定着支援を「えべつ障がい者しごと相談室すてら」に委託する。	委託料 9,088千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越事業したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…9,088千円、27年度総事業費…9,088千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内大学の在学学生 市内大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内大学を通して、市の各部署に学生を受け入れ、就業体験実習を実施する。 実習の終わりに報告会を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学の在学学生数	人	10,884	10,429	10,429	10,047
対象指標 2	市内大学数（短大含む）	校	5	5	5	5
活動指標 1	インターンシップ参加大学数	校	4	3	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	インターンシップ参加学生数	人	12	9	10	10
成果指標 2	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	109	113	0	413
正職員人件費 (B)		千円	2,344	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	2,453	2,469	2,347	2,708

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学の在学学生をインターンシップ実習生として受け入れ、職場実習や市政理解のための共通実習を実施する。 実習の終わりには、実習生から実習の成果を発表する実習報告会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ旅費（通勤費用対応） 350千円 公務出張旅費 63千円 <p>※26年度補正予算を27年度へ繰り越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算：413千円、27年度総事業費2,760千円】</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①市内大学と市内企業が連携して行う有給インターンシップが円滑に進むよう支援する。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。 ②学生における市内企業への就職意欲を高める。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	0	10,711	11,167	10,711
対象指標 2						
活動指標 1	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	数	0	53	50	50
活動指標 2						
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	0	3	32	40
成果指標 2	学内企業説明会参加企業数	社	0	4	5	5
事業費 (A)		千円	0	2	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	1,573	2,347	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①有給インターンシップ制度の運営 ②市内大学に対する市内企業の求人活動の支援	※27年度補正予算を28年度へ繰越するため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…13,992千円、28年度総事業費…16,287千円】 ・有給インターンシップ制度運営経費 13,927千円 ・事務経費 65千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…11,770千円、27年度総事業費…14,117千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内高校の生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する面接指導・研修 ③企業説明会	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
①適切な進路・職業選択のための職業観が醸成される。 ②希望する進路や職業に就くための知識、心構えを習得する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	0	4,394	4,585	4,394
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	0	142	152	142
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	0	148	210	180
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	0	12	13	10
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	0	96	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	0	85	100	100
事業費 (A)		千円	0	2,613	0	2,500
正職員人件費 (B)		千円	0	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	4,969	2,347	4,795

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する研修 ③企業説明会	・就業体験支援 800千円 ・就職希望者に対する研修 1,700千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…2,500千円、27年度総事業費…4,847千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：介護人材育成事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	介護業界での就職希望者
手段（事務事業の内容、やり方）	介護業界での就職を希望する者に対して介護職に必要な研修を実施し、介護職に関する説明会や見学会などを実施して介護事業所への就職を支援する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	介護業界での就職を希望する者の資格取得や事業所とのマッチングにより介護事業所への就職と定着を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民（15～64歳）	人	0	0	74,918	73,281
対象指標 2						
活動指標 1	資格取得支援等実施回数	回	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	資格取得講習修了者数	人	0	0	10	12
成果指標 2	介護事業所就職者数	人	0	0	10	10
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,564	1,530
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,564	1,530

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	介護分野への就職希望者に対し介護職員育成研修を実施するとともに、介護職に関する説明会や見学会などを実施して介護事業所への就職を支援する。	※27年度補正予算を28年度へ繰越事業したため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…2,796千円、28年度総事業費…4,326千円】 ・介護職員育成研修及びマッチング支援経費 2,796千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越事業したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…11,458千円、27年度総事業費…13,022千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	求職者を雇用して1ヶ所で職場実習を行うのではなく、研修を無料で受講させるとともに様々な事業所の見学会や説明会を実施することにより、施設の形態によって職種や勤務条件が大きく異なる介護業界での適正なマッチングと定着を支援する。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グレスラム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	営業日数	日	0	0	0	365
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	0	0	25,000
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	0	0	3,750
事業費 (A)		千円	0	0	0	9,699
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,913
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	11,612

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営委託料：8,003千円 チョークアート制作委託料：100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	旧ヒダ工場が商業施設として活用されることに伴い、アンテナショップに観光情報案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてオープンした。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8	
対象指標2							
活動指標1	プロモーション事業件数	件	4	4	6	7	
活動指標2							
成果指標1	主要観光施設観光入込客数	人	152,856	147,407	129,000	240,000	
成果指標2							
事業費(A)		千円	1,649	2,852	3,015	5,351	
正職員人件費(B)		千円	2,344	2,356	3,129	3,826	
総事業費(A+B)		千円	3,993	5,208	6,144	9,177	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースの設定 ・さっぽろ広域観光圏推進協議会への事業費負担金支出 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・リアル謎解き探偵inEBETSUの実施 ・健康ウォーキングマップの発行 ・地域おこし協力隊 	ドライブコースご当地ナビ事業経費 36千円 さっぽろ広域観光圏推進協議会事業費負担金 500千円 ノハナショウブ保存活用事業費 350千円 リアル謎解き探偵inEBETSU実施事業経費 1,800千円 ウォーキングマップ製作委託料 292千円 地域おこし協力隊 委員報酬 2,373千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	観光資源のパッケージ化による、市内周遊促進に取り組む		減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止 その他					
	改革方向性（成果）	向上			
		維持			
		低下			

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興					
			プログラム	② 観光資源のパッケージ化					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別観光協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
観光協会の活動が活発化し、観光入込客数が増える。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	175	180	180	200
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,335	1,707	1,850	2,647
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	7	7	7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,335	1,707	1,850	2,647
正職員人件費 (B)		千円	5,860	3,927	3,911	3,826
総事業費 (A+B)		千円	7,195	5,634	5,761	6,473

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別観光協会事業への補助金交付	江別観光協会補助金 2,647千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	観光パンフレットを統合し、掲載内容の拡充と増刷を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

